

## 大成建設株式会社が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、大成建設株式会社（以下「本法人」）が発行する第40回無担保普通社債（グリーンボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021年12月9日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本債券の発行により調達する資金は、①保有施設の省エネ化リニューアル（大成建設株式会社関西支店ビル及び横浜支店ビル、大成ユーレック株式会社川越工場）、②再生可能エネルギー事業への投資（太陽光発電施設、風力発電施設）、③脱炭素関連の技術開発投資（洋上風力発電関連、カーボンリサイクル・コンクリート関連、ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）・省エネルギー関連、水素利活用関連）に充当される予定です。

また、本法人は本債券の発行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則 2021」及び環境省の「グリーンボンドガイドライン 2020年版」に即したグリーンボンド・フレームワークを策定し、その適合性について、株式会社日本格付研究所（JCR）より適合する旨のセカンドパーティオピニオン取得しており、かつ、「JCRグリーンボンド評価」の最上位評価である「Green1」の評価を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上